



ポータブル PA システム

HK AUDIO POLA10 / POLAR12

取扱説明書

HK AUDIO 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。





安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 必ず AC100V(50Hz/60Hz) の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となります。また、電源コードは他の機器には使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の着脱は電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。

注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 事前に機器の重量を確認し、けがをしないように持ち運びや設置を行ってください。
- 斜面や不安定な場所に設置しないでください。転倒 / 落下によるけがや故障の原因となります。また、滑りやすい面に置くと音の出力エネルギーによってスピーカーが動いてしまう恐れがあります。ゴムマットを下に敷くなどの滑り止め対策を施してください。

■以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。

- ・直射日光のあたる場所
- ・温度の特に高い場所、または低い場所
- ・湿気の多い場所
- ・ほこりの多い場所
- ・振動の多い場所
- ・塩害や腐食性ガスが発生する場所

■通気性の良い場所に設置し、通気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。

■機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。接続したまま移動すると、けがや故障、ケーブル破損の原因となります。

■配線は、全ての機器をコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。接続したまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。

■濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。

■電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。また、機器の電源を ON にする時は、スピーカーの破損を防ぐために一番最後に本機の電源を入れてください。電源を OFF にする時は、一番最初に電源を切ってください。

■大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。

■過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

Bluetooth に関する注意

■本機の Bluetooth 接続による通信可能距離は、Bluetooth バージョン 5.0 対応機器で最大 40m、Bluetooth バージョン 4 以前の機器で最大 10m です。

Bluetooth 端末の通信能力、周囲の環境などの要因により、通信距離が変わります。また、Bluetooth 端末が圏外に移動したり、信号が妨げられる状態になると音切れが生じることもありますのでご注意ください。

■本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本機を分解 / 改造すること。
- ・本機に貼ってある証明番号が印刷されたラベルを剥がすこと。

梱包内容の確認

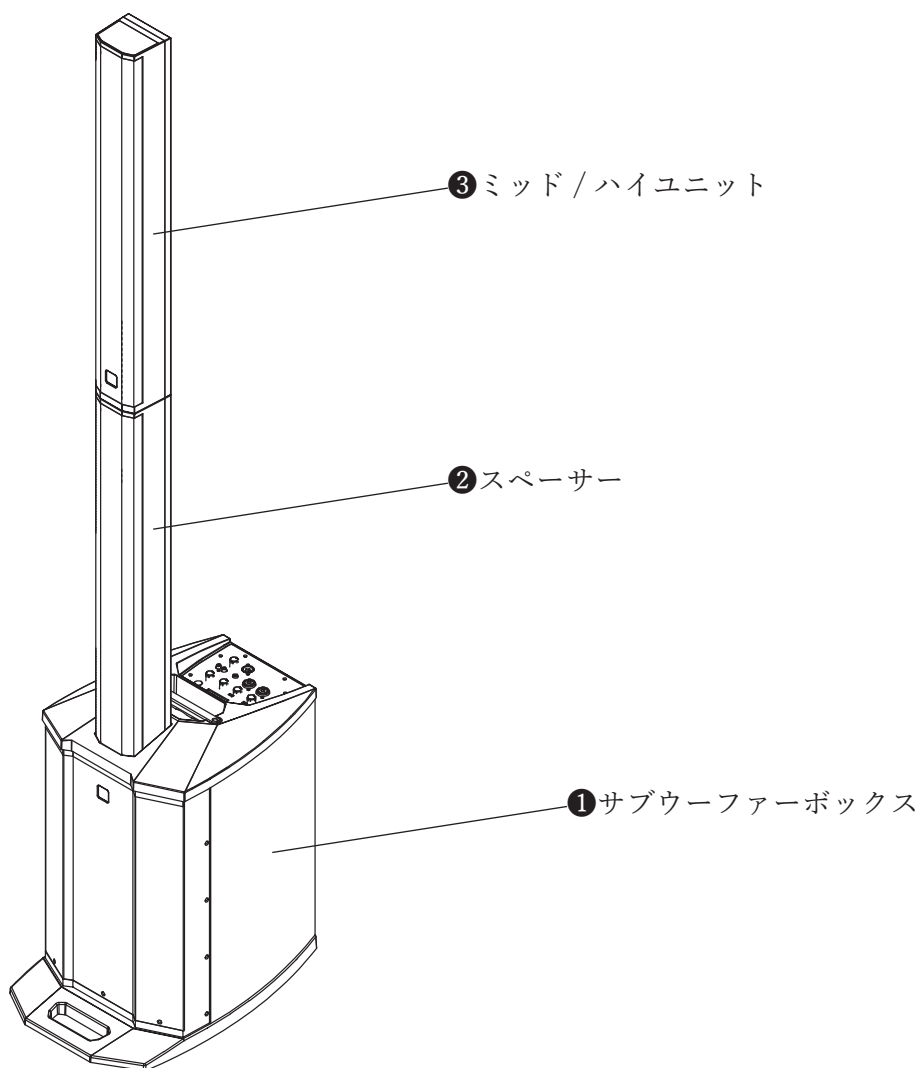
パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

- 本体（サブウーファー一体型パワードミキサー）
- ミッド/ハイユニット（コラムユニット）、スピーサー
- サブウーファー用保護カバー
- コラムユニット用キャリングバッグ
- 電源ケーブル
- 当取扱説明書

目次

安全上のご注意	2
Bluetooth に関する注意	3
梱包内容の確認	4
1. 各部の名称	5
2. システムのセットアップ	6
3. 各部の名称と機能	8
4. DSP メニュー /Bluetooth	11
5. 製品仕様	17
6. 保証について	19

1. 各部の名称



① サブウーファーボックス

パワーアンプ、ミキサーと、低音域を出力するサブウーファーユニットを一つのボディに収納しています。上部に②③のユニットを直接接続するコネクターシステムを備えています。

② スペーサー

①のサブウーファーボックスと、③のミッド/ハイユニットの間に接続し、中音域/高音域が聴衆に届く高さを調整します（次ページ画像参照）。サブウーファーボックスの上部に備えられたコネクターソケットに直接差し込みます。ケーブル等の結線は不要です。

※本機はスペーサーなしでも動作します。

③ ミッド/ハイユニット（コラムユニット）

中音域/高音域を再生するためのスピーカーユニットです。

2. システムのセットアップ

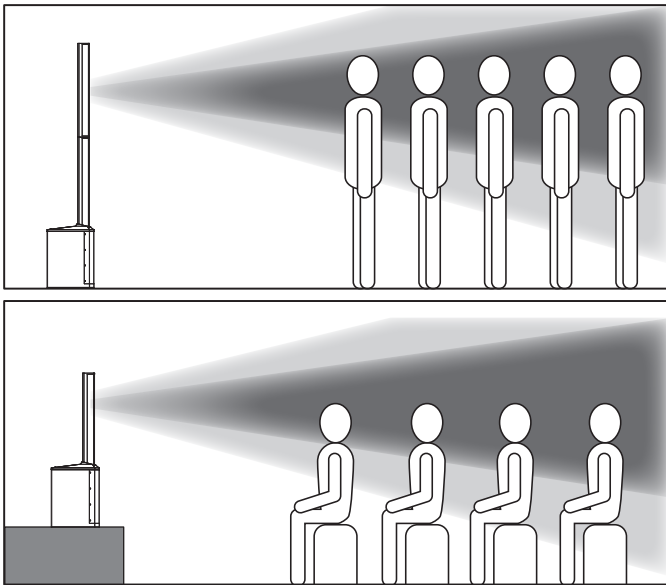
① コンポーネントを接続する

サブウーファーを水平で安定した場所に設置します。

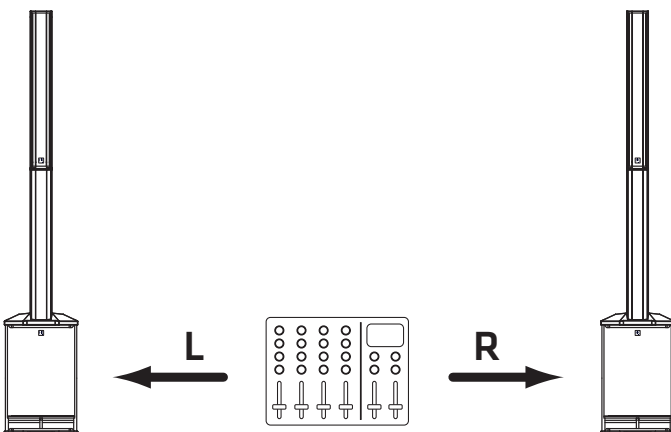
スピーカーとミッド/ハイユニットをサブウーファーに接続します。

※しっかりとコネクタに接続されていることを確認してください。

※本機はスピーカーなしでも動作します。会場の状況によって、ミッド/ハイユニットが聴衆の頭の高さくらいになるように設置することをおすすめします。

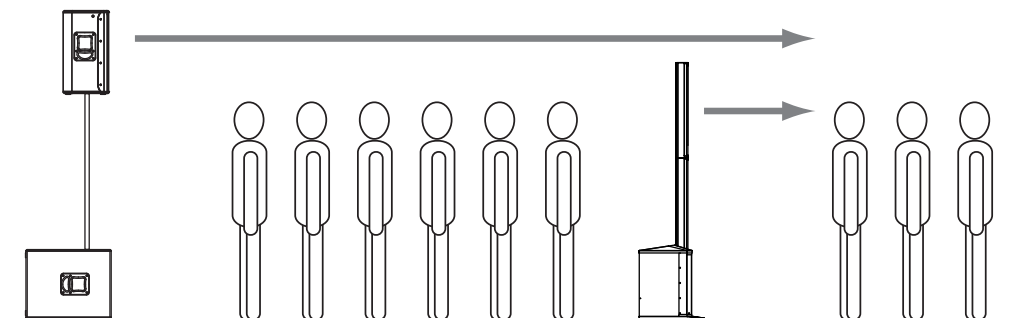


② ステレオの設定



本機を2台用意し、ステレオシステムとして使用する場合、別途用意したミキサーのメインアウト左チャンネルを左側のシステムへ、右チャンネルを右側のシステムへ接続してください。モード、EQ、ディレイなどのDSP設定を両システムで揃えてください。

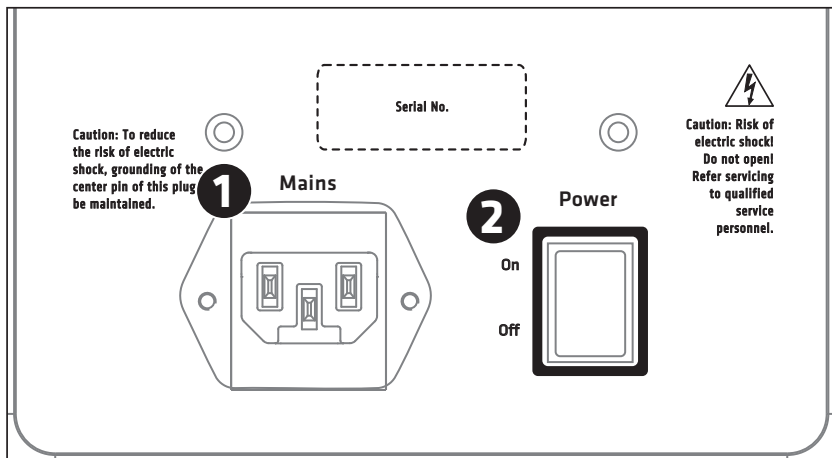
③ デイレイ機能



本機の Delay 機能を使うと、本機を PA システムのデイレイラインスピーカーとして使うことができます。PA システムのメインスピーカーと本機の距離をメートル単位で測り、その数値を DSP メニューの "Delay" に入力するだけで設定は完了です。メインスピーカーの遅延を自動的に計算し、適切なデイレイ信号を出力します。

詳しくは 14 ページ「デイレイ」の項目をご覧ください。

3. 各部の名称と機能

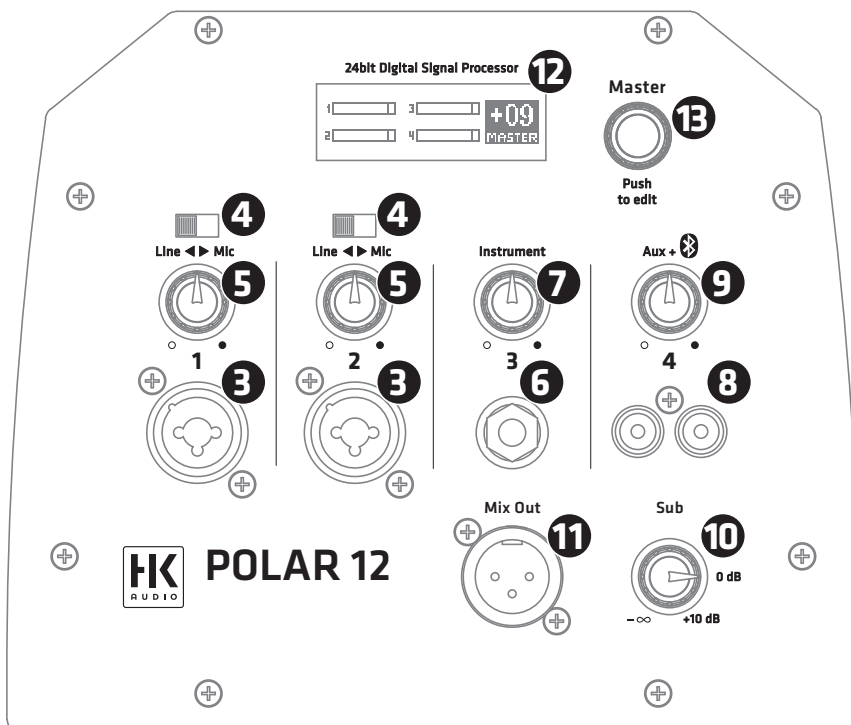


① 電源端子

付属の電源ケーブルを接続してください。

② 電源スイッチ

電源の ON/OFF を切り替えるスイッチです。本機の電源を入れると、直近で使用した DSP 設定が読み込まれ、4つのチャンネルのレベルインジケータとマスターボリューム設定がディスプレイに表示された後、数秒で動作可能な状態になります。



③ チャンネル 1/2 MIC/LINE 入力端子

XLR（バランス）またはフォンプラグ（バランスまたはアンバランス）どちらのケーブルも接続できるコンボタイプの入力端子です。

④ チャンネル 1/2 感度切替スイッチ（Line/Mic）

プリアンプの感度とインピーダンスを切り替えるセレクタースイッチです。

Line ポジションは、ミキシングコンソールやキーボード、CD/MP3 プレーヤーなど、ラインレベルの機器を接続するためのものです。Mic ポジションは、ダイナミックマイクロホンの接続に使用します。

⑤ チャンネル 1/2 ボリューム

チャンネルごとの音量を調整するつまみです。

左一杯の位置に絞ると無音になり、右一杯に回すと最大音量になります。

⑥ チャンネル 3 楽器入力端子

ギターやベースなど、ハイインピーダンス（Hi-Z）出力の楽器を直接接続できる入力端子です。

⑦ チャンネル 3 ボリューム

チャンネル 3 の音量を調整するつまみです。左一杯の位置に絞ると無音になり、右一杯に回すと最大音量になります。

⑧ チャンネル 4 AUX 入力端子

CD/MP3 プレーヤー、スマートフォン、DJ ミキサーなどのオーディオ機器を接続する入力端子（2x RCA ピンジャック）です。

⑨ チャンネル 4 ボリューム

AUX 入力と Bluetooth 入力の信号レベルを調整するつまみです。AUX 入力を使用しながら Bluetooth ストリーミングを行う場合は、Bluetooth 端末の音量を AUX 入力信号の音量に合わせて、2つの信号レベルのバランスを取ってください。

⑩ サブ

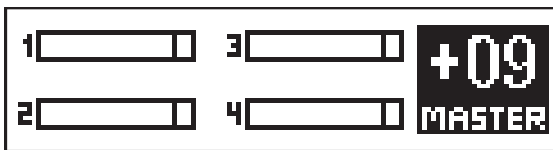
本機サブウーファースの音量、すなわち低音の量を調整するつまみです。左一杯に回すと本機サブウーファースのレベルを完全に 0 にできます。右一杯に回すと低音がブーストされます。つまみを 0db の位置にすると、コラムとサブウーファースの音量が比較的バランスよくなります。低音の量を減らすと、リミッター回路を作動させずに、全体の音量を上げることができます。

⑪ ミックスアウト XLR 出力端子

全入力チャンネルがミックスされた音声信号を出力します。別の POLAR やミキサー、パワー・モニタースピーカーなどに接続できます。また、クロスオーバーやローパスフィルターを備えたパワーサブウーファー (SONAR115Sub D) に接続することもできます。

⑫ LCD ディスプレイ

通常の操作では、このディスプレイに入力チャンネルのレベルとマスターボリュームが表示されます。



※ DSP モードでは、選択されている DSP メニューのパラメータが表示されます。

レベルインジケータ

4つのレベルインジケータは、入力チャンネルのレベルを表示します。Overload セクションは、入力信号のレベルが高過ぎることを知らせます。

※本機は、時々発生する信号のピークに対処するための十分なヘッドルームを備えています。しかし、Overload インジケータが常時点灯していたり、音が割れているように聞こえる場合は、そのチャンネルの入力レベル、または接続している楽器や機器の出力レベルを下げてください。

⑬ マスター (push to edit)

システム全体の音量を調整するつまみです。ディスプレイには 1dB 刻みで -60 ~ +10dB の数値で表示されます。また、このつまみを押すことで DSP メニューへアクセスできます。

4. DSP メニュー / Bluetooth

マスターつまみの操作で、各チャンネル設定やその他の DSP パラメータ、Bluetooth 接続機能にアクセスできます。ディスプレイには、選択されているパラメータが表示されます。

マスターつまみを 1 回押したあと、マスターつまみを回して、メニューを移動します。

メニューに合わせてマスターつまみを押すと、各メニューの操作、編集ができます。

※ 8 秒以内にメニュー選択しない場合、選択したメニューオプションを終了し、自動的にレベル / マスターボリューム画面に戻ります。これは不用意な操作ミスを防ぐためです。

※ 電源を切ると、その時の DSP 設定を自動的に保存し、電源を入れ直すとそれらの設定が再ロードされます。

① Bluetooth



本機は、スマートフォンやタブレット、Bluetooth 対応プレーヤーなどと Bluetooth で接続することで、音声データをワイヤレスで再生することができます。

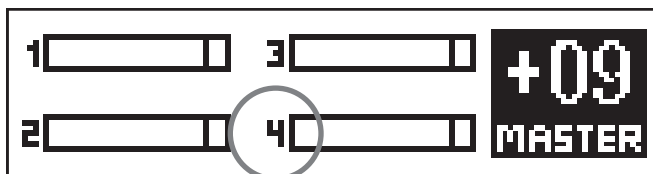
① Bluetooth 端末の接続

1. 本機のマスターつまみを 1 回押すと、ディスプレイに "BT Pairing" のメニューが表示されます。
2. マスターつまみをもう 1 回押すと Bluetooth 接続（ペアリング）が開始されます。ペアリング中の 120 秒間、ディスプレイの Bluetooth アイコンがゆっくり点灯し、接続準備ができていることを示します。
3. Bluetooth 端末の Bluetooth メニューで、"HK Audio POLAR 10" または "HK Audio POLAR 12" を選択し、接続を確立します。
4. 接続が確立されると、ディスプレイの Bluetooth マークが点滅から常時点灯に変わります。

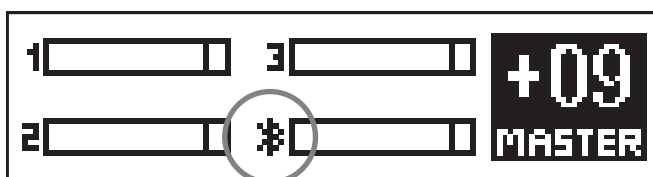
※ Bluetooth 接続時は、Bluetooth 端末の通知音、着信音、システム音等が再生されることがあります。オーディオ再生時には、Bluetooth 端末のこれらの機能を無効にしてください。

5. ディスプレイには、Bluetooth の状態が表示されます。

- ・ Bluetooth がオフの状態 → ディスプレイには、Bluetooth のアイコンではなく、数字の 4 が表示されます。



- ・ Bluetooth 端末が接続されている状態 → Bluetooth のアイコンが常時点灯



- ・ アイコンの点滅が早い → Bluetooth のペアリングに失敗した、または接続が切れた (Bluetooth 接続の圏外にいるなど)

※ アイコンの点滅が早い場合、Bluetooth 端末が圏内にあるか、Bluetooth が有効になっているか、Bluetooth 端末のメニューで "POLAR" が選択されているかを確認してください。

※ Bluetooth デバイスのリストに "POLAR" が表示されていない場合は、Bluetooth ペアリングを再度行ってください。

- ・ チャンネル 4 は、Bluetooth 端末から送信された音声信号が入力されます。チャンネル 4 のボリュームつまみ、または Bluetooth 端末のコントロールでレベルを調整してください。
- ・ Bluetooth 端末の再生ボタンを押す前に、チャンネル 4 のボリュームを下げておき、少しずつ音量を上げるようにしてください。

② 自動ペアリング

本機の電源を入れ直すと、接続したことがある Bluetooth 端末を自動で探し、接続します。

※ 120 秒の間に接続できなかった場合は、電源を入れなおし、手動で接続してください。

③ Bluetooth 端末の切り替え

Bluetooth ペアリング中は、他の Bluetooth 端末に切り替えることはできません。別の端末に替えたい場合は、ペアリング中の端末を解除して別の Bluetooth 端末をあらためて接続する必要があります。

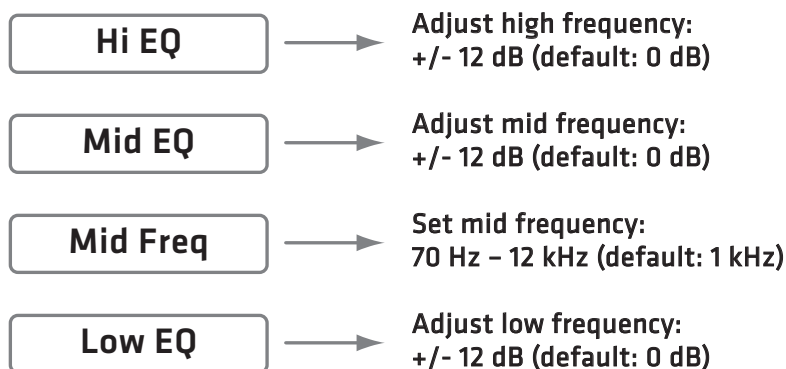
④ Bluetooth の通信距離

本機の Bluetooth 接続による通信可能距離は、Bluetooth バージョン 5.0 対応機器で最大 40m、Bluetooth バージョン 4 以前の機器で最大 10m です。

※ Bluetooth 端末の通信能力、周囲の環境などの要因により、通信距離が変わります。また、Bluetooth 端末が圏外に移動したり、信号が妨げられる状態になると音切れが生じることもありますのでご注意ください。

② 設定

① システム EQ



本機は各チャンネルに 3 バンド EQ 機能を備えており、入力信号の音質調整が可能です。Hi EQ と Lo EQ はシェルビングフィルター、Mid EQ はセミパラメトリックフィルターです。

これらのトーンコントロールは、用途や好みに合わせてサウンド全体を調整するために使用します。マスターつまみを回して各 EQ にアクセスし、マスターつまみを 1 回押すと、以下の EQ 操作ができます。マスターつまみを右に回すとカット、左に回すとブーストされます。

- ・ Hi EQ：高域をブーストまたはカットします。
コントロール範囲：± 12 dB / 周波数：12 kHz
- ・ Mid EQ：中域をブーストまたはカットします。
コントロール範囲：± 12 dB
- Mid Freq：中域 EQ の中心周波数を選択、調整するパラメータです。
周波数範囲 70Hz - 12kHz
- ・ Low EQ：低域をブーストまたはカットします。
コントロール範囲：± 12 dB / 周波数：70 Hz

注意：この EQ は本機のスピーカー出力にのみ反映されます。Mix Out からの出力には影響しません。

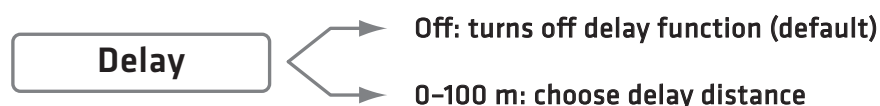
②モード



マスターつまみを回して MODE に合わせ、マスターつまみを 1 回押すと、用途に応じて 3 つのモードを選択できます。

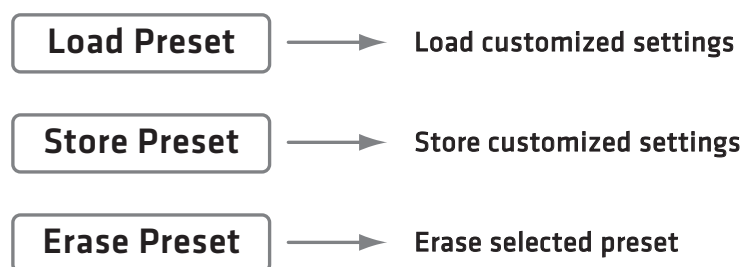
- ・ Music：一般的なライブ用途や、あらゆる音楽の再生に適したモードです。
- ・ DJ：低音域が増強されます。DJ プレイやエレクトロミュージックのイベント、パーティに最適なモードです。
- ・ VOICE：スピーチやトークイベントに適したモードです。

③ディレイ



本機を PA システムのディレイラインスピーカーとして使うことができます。PA システムのメインスピーカーと本機の距離をメートル単位で測り、つまみを回してその数値を設定します。メインスピーカーの遅延を方程式に組み入れ、自動的に計算し、適切なディレイ信号を出力します。距離は 0 ～ 100m の間で設定可能です。

③ プリセットの管理



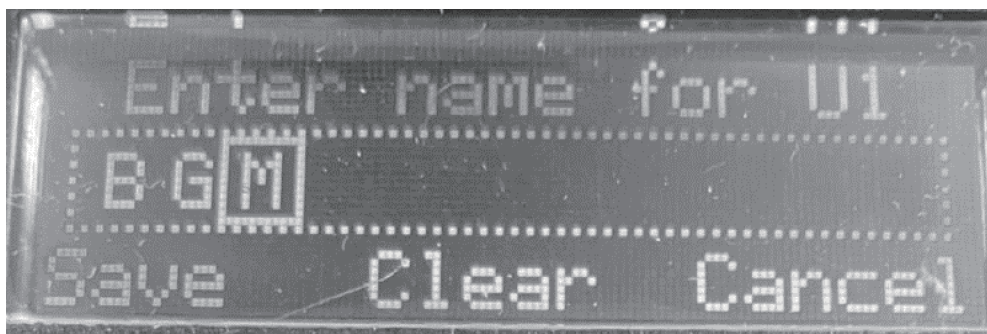
①ロード・プリセット

5つのメモリスロット (U1～U5) があり、「2. ストア・プリセット」で保存した DSP 設定を呼び出します。ユーザー・プリセットには、DSP メニューの全パラメータ (モード、3 バンド EQ、ディレイ、ディスプレイの明るさなど) の設定値が含まれています。

マスターつまみを回して、U1～U5の中からロードしたいプリセットを選択し、つまみを押すと選択したプリセットがロードされます。"Exit"を選択すると、プリセットを読み込まずにメニューを終了します。

②ストア・プリセット

DSPメニューの設定を保存します。マスターつまみを回して、U1～U5のメモリスロットを選択します。



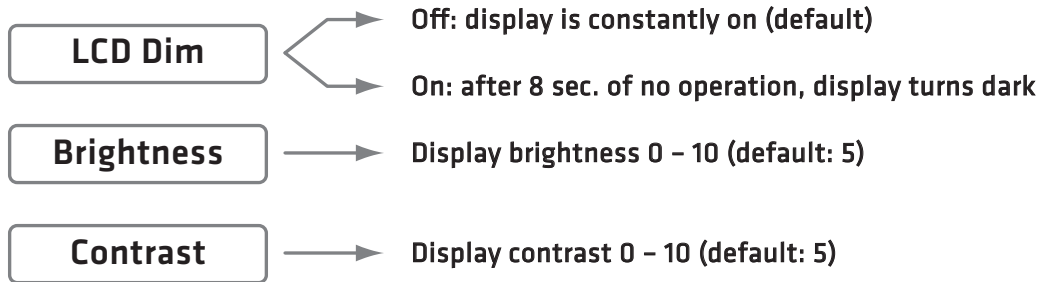
プリセット名の設定：DSPのセッティングや用途に応じてTOLK、BGM等と名前を付けておくと便利です。

- ・テキストボックスの中でマスターつまみを1回押してから右に回すと、アルファベットが順に表示されます。もう1回マスターつまみを押すと、文字が確定されます。順に次の文字も同じように確定させていきます。
- ・マスターつまみを回さずに1回押すと、ディスプレイに矢印記号"?"が表示されます。ここでマスターつまみを回すと、テキストボックスから"Save"、"Clear"、"Cancel"の各オプションに移動することができます。
- ・セーブ：マスターつまみを"Save"の位置に合わせて1回押すと、DSP設定が保存されます。
- ・クリア：マスターつまみを"Clear"の位置に合わせて1回押すと、テキストボックス内に入力したタイトル文字が消去されます。
- ・キャンセル：マスターつまみを"Cancel"の位置に合わせて1回押すと、U1～U5の選択メニューに戻り、設定を保存せずにメニューを終了します。

③イレース・プリセット

- ・DSPメニューの設定を削除します。マスターつまみを1回押すと、"Confirm Erase No"と表示されます。マスターつまみを右に回すと"Yes"の表示に変わりますので、マスターつまみを1回押すと、全ての設定が削除されます。

④ ディスプレイ



- ・LCDディム：ディスプレイを明るく保ちたい場合は、この機能をオフに設定してください。オンにすると、マスターつまみの操作を止めてから約8秒後にディスプレイが暗くなります。
- ・ブライトネス：ディスプレイの明るさを0～10で調整します。
- ・コントラスト：ディスプレイのコントラストを0～10で調整します。

⑤ ファクトリーリセット



- ・本機の DSP 設定を工場出荷時に戻すことができます。
- ・マスターつまみを1回押すと "Confirm Reset No" と表示されます。マスターつまみを右に回すと "Yes" の表示に変わり、その状態でマスターつまみを1回押すと、全ての設定が削除されます。

⑦ DSP メニューを終了する



DSP メニューを終了し、マスターつまみをボリュームコントロールとしての機能に戻します。マスターつまみを約8秒間操作しないと、自動的にこの動作が行われます。

5. 製品仕様

POLAR 10/12 System	POLAR 10	POLAR 12
最大音圧レベル (ハーフスペース)	126 dB	127 dB
周波数レンジ +/- 10 dB	38 Hz – 20 kHz	38 Hz – 20 kHz
パワーアンプ出力 (ピーク)	2,000 W	2,000 W
パワーアンプ形式	クラス D - バイアンプ	クラス D - バイアンプ
クロスオーバー周波数	180 Hz, 24 dB/oct.	180 Hz, 24 dB/oct.
アクティブ保護回路	低電圧、過熱、過電流、リミッター	低電圧、過熱、過電流、リミッター
入力	2x XLR コンボジャック (バランス)、1x Hi-Z インストルメント、2x RCA、Bluetooth オーディオ	2x XLR コンボジャック (バランス)、1x Hi-Z インストルメント、2x RCA、Bluetooth オーディオ
出力	Mix Out	Mix Out
最大入力レベル	+4 dBu	+4 dBu
フィルタープリセット・モード	Music、Voice、DJ	Music、Voice、DJ
ユーザープリセット	5	5
EQ	3- バンド、セミパラメトリック EQ (mid)	3- バンド、セミパラメトリック EQ (mid)
システムディレイ	最大 291 ms (100 m)	最大 291 ms (100 m)
Bluetooth	Bluetooth Ver.5.0	Bluetooth Ver.5.0
エンクロージャー	バーチ合板 / ABS	バーチ合板 / ABS
仕上げ	ブラック塗装	ブラック塗装
全高 (システム全体)	213 cm	218 cm
質量	26.9 kg	28 kg

Subwoofer	POLAR 10	POLAR 12
ウーハーユニット	1x 10" , 2" ボイスコイル	1x 12" , 2.5" ボイスコイル
フロントグリル	1.5mm ブラックメタルグリル	1.5mm ブラックメタルグリル
寸法 (WxHxD)	36.6 x 62.5 x 54.1 cm	36.6 x 67.5 x 54.1 cm
質量	21 kg	22.1 kg

Mid/High Unit	POLAR 10	POLAR 12
ミッド・スピーカーユニット	6x 3" , 3/4" ボイスコイル、ネオジム	6x 3" , 3/4" ボイスコイル、ネオジム
HF ドライバー	1x 1" , 1" ボイスコイル	1x 1" , 1" ボイスコイル
公称指向角度 (水平 x 垂直)	120° x 30°	120° x 30°
フロントグリル	1 mm ブラックメタルグリル	1 mm ブラックメタルグリル
寸法 (WxHxD)	10.8 x 82.5 x 9.8 cm	10.8 x 82.5 x 9.8 cm
質量	3.9 kg	3.9 kg

技術仕様	POLAR 10	POLAR 12
消費電流	0.8 A / 100-120V AC	0.8 A / 100-120V AC

6. 製品保証について

当製品の保証期間はご購入後3年間です。

HK AUDIO の web サイトにてオンラインユーザー登録を行うことによって、2年の延長保証を付与いたします。合計5年の保証期間となります。

以下 URL よりご登録手続きください。

<https://hkaudio.com/warranty-registration/>

保証登録は、ご購入日から30日以内に行われた場合のみ有効です。

HK AUDIO 保証規定

当説明書の記載に基づき、正常な操作を行い、通常状況の使用時に発生した故障について、保証修理対応いたします。

なお、下記に該当する場合は、保証規定対象外として有償修理対応となります。

- ・ 消耗部品（スピーカーユニット、ツイーターユニット、ヒューズ等）の交換が必要になる場合
- ・ 不適切な取り扱いや、異常電圧、過大入力、過大音量が原因で生じた故障（スピーカーユニット、ツイーターユニットの焼損、破損を含みます）
- ・ 弊社以外での修理や、改造がなされている場合
- ・ 落下や転倒等による外部衝撃及天災が原因となる故障
- ・ 液体等の異物が製品に流入、付着したことが原因となる故障
- ・ その他、メーカー判断により保証対象外とみなされる原因による場合

当保証は新品購入のファーストユーザー様のみ適応となります。製品を譲渡された場合、保証を引き継ぐことは出来ません。

保証修理の際には、当取扱説明書及びご購入履歴が必要となります。

ご購入時の確認メール、納品書は大切に保管ください。

使用方法、故障などでお困りの際は、以下の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

ヒビノ株式会社 カスタマーサポート

TEL：03-5419-1550 メール：marketing@hibino.co.jp

※受付時間：月～金曜日 9:30～18:00(祝祭日及び弊社指定休日を除く)



●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

HIBINO

ヒビノ株式会社 EC事業統括部

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

TEL: 03-5419-1550 FAX: 03-5419-1565

<https://www.hibino.co.jp/> E-mail: fullten@hibino.co.jp